しまなみ輝く 観光の絆

平成の A面 B面 ④

A面

新尾道大橋から生口橋まで、ずっと渋滞が続いていたという。「一日中、車から外を眺めているだけだったが、橋を渡る喜びの方が勝っていた」

1999年(平成11年)5月1日、瀬戸内海の島々を橋でつないで尾道市と愛媛県今治市を結んだ「瀬戸内しまなみ海道」が開通した。当時、9歳だった奥川大智さん(28)は開通からまもなくして、初めて訪れた日のことをそう振り返った。今年で開通から20年を迎える。尾道観光協会(尾道市)で、しまなみ海道を自転車で案内する「サイクリングガイド」を務める現在、新たな時代に期待を込める。

99年5月のある休日。開通したばかりのしまなみ海道を車で走ろうと、両親と祖父母らと午前中に御調町(現・尾道市御調町)の自宅を出発した。今治市を目指すも、渋滞で生口島に着いたのは夕方。Uターンして帰宅した頃には日が暮れていた。それでも、「未知の島だった因島や生口島が身近に感じられた」。

「平成の大合併」で、山間部の御調町は島しょ部の向島町とともに、2005年(平成17年)に尾道市となり、翌年には因島市、瀬戸田町も一緒になった。その頃、県立西条農高(東広島市)に進学し、寮生活を送り始めた。帰省時はJR尾道駅を利用していた。

《海が見えた。海が見える。五年振りに見る、尾道の海はなつかしい》

駅前で夕暮れの尾道水道を目にした時、林美美子の小説「放浪記」の一節と同じ郷愁を覚えた。「遊びに行く町」だった合併後の尾道市は「帰りたい故郷」に変わっていた。

13年(平成25年)に比治山大(広島市東区)を卒業し、JA広島中央(東広島市)に就職。しかし、高校生の頃に思い描いた「尾道の良さを伝える仕事がしたい」という夢をかなえるため、尾道観光協会の求人を機に翌春、転職した。本州四国連絡橋3ルートの中で唯一、自転車道があるしまなみ海道は、米CNNの旅行サイトで「世界の7大サイクリングコース」の一つに選ばれている。

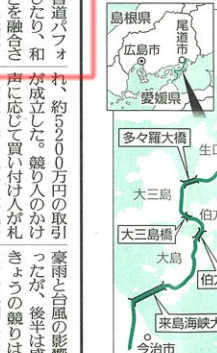
国内外の自転車愛好家が注目するサイクリストの聖地」で、自ら自転車で走りながら、瀬戸内海の風景に感嘆する観光客を先導。ヘッドマイクを使って、橋の構造や村上海賊、地元スイーツの話題など幅広く紹介していく。

そんなしまなみ海道の人気は広がり、観光協会が手がけるツアーだけでも、取扱高は13年(平成25年)度の約350万円から、18年(平成30年)度は約2600万円(12月27日現在)に増えた。平成に出来たしまなみ海道が、昭和の雰囲気が残る尾道に観光客を呼び寄せていた。

自身も17年(平成29年)に旅行商品を企画することができる国内旅行業務取扱管理者の資格を取得した。「橋でつながった『便利な島』をPR し、地元住民も、観光客も満足できる企画を手がけたい」と夢を膨らませた。

(藤岡博之)

サイクリングガイドとして因島大橋(奥)などを案内する奥川さん。「沿線が生活の場から観光地に変わってきた」と話す(尾道市)



瀬戸内しまなみ海道

尾道市と愛媛県今治市を七つの橋と島内道路で結ぶ西瀬戸自動車道の愛称。全長約60キロ。1999年(平成11年)に新尾道大橋、多々羅大橋、来島海峡大橋が開通し、既に使用されていた因島大橋、生口橋、大三島橋、伯方・大島大橋と合わせて両市が直結した。新尾道大橋の隣には68年(昭和43年)開通の尾道大橋も架かる。

瀬戸内しまなみ海道の開通を祝う関係者ら(右後方は尾道市の新尾道大橋)

古里PR 視野に

大学時代から付き合っていた人と1日に結婚します。自分の仕事を知ってほしいと、2人でしまなみ海道をドライブしたり、サイクリングしたりしました。最近は2015年(平成27年)に全線開通した中国やまなみ街道(尾道市―松江市)を利用し、山陰地方に出かけています。山陽自動車道、しまなみ海道、やまなみ街道が交差する「瀬戸内の十字路」の特性を生かし、古里の御調町を売り出す企画も考えています。

奥川大智さん

「福」つかみ 笑顔の年に

福山

昨年末から福山市の福山城天守閣前で開かれていた「福山城あかりまつり」の会場で、最終日の5日、「日本一早い豆まき」と銘打ったイベントが行われた。

1869年創業で「豆徳」の愛称で知られる徳永製菓(福山市)が企画。「福まき」と称し、同社の社員らが金色にコーティングするなどした縁起物の豆菓子約1万個や、地元商店の買い物券などをまくと、多くの市民らが手を伸ばした。上迫豊社長(52)は「邪気を払うら豆を食べて、1年間ニコニコ過ごしてほしい」と話していた。

会場では、ほかにもデザイン書家の高田優子さんが音楽に合わせて書道パフォーマンスを披露したり、和太鼓とドラムなどを融合させた太鼓ユニット「我龍」のライブなどが行われたりしてにぎわった。

まかれた豆に手を伸ばす市民ら(福山市で)

初市 威勢よく

尾道浜問屋協同組合

尾道市の住吉神社で5日、恒例の新年初市が開かれ、威勢のいいかけ声が境内に響いた。

水産物加工業者などでつくる尾道浜問屋協同組合が開催。国内外の産地から集まったちりめんじゃこやいりこ、昆布など各わせて約26・5トンが競りにかけられ、約5200万円の取引が成立した。競り人のかけ声に応じて買い付け人が札に買値を書き込み、落札のたびに歓声が上がった。同組合の森川英孝理事長は「昨年の前半は、西日本豪雨と台風の影響で不漁だったが、後半は盛り返し、きょうの競りは堅調だった。今年迎えた尾道港開港850年にふさわしいスタートを切ることができた」とあいさつした。

瀬戸内 堅守光る

全国高校サッカー選手権

4強進出

全国高校サッカー選手権大会(読売新聞社など後援)の準々決勝が行われた5日、県代表の瀬戸内は千葉市のフクダ電子アリーナで試合に臨み、日本航空(山梨)に1―0で勝利。初出場で4強入りを果たした。

瀬戸内は37分、FW川岸怜央選手(3年)の左サイドからのクロスを、MF吉田寛太選手(3年)が頭で合わせて先制。後半に入ると、日本航空の徹底したサイド攻撃を受けたが、守備陣が声を掛け合い、体を張って得点を許さなかった。

DF児玉絢選手(3年)らを信頼する安藤正晴監督は「中を厚くして、サイドは少々は(空いても)いい」と指示。ペナルティーエリア内に人数を集め、相手のクロスにも冷静に対応。児玉選手は「中にブロックを作って、外に(ボールを)出す守備ができた。やられる気はしなかった」と胸を張った。

安藤監督は「相手の圧力は強かったが耐えてくれた。本当によく粘り強く頑張った」と選手たちをたたえた。

瀬戸内は12日に埼玉スタジアム(さいたま市)で行われる準決勝で、前回準優勝の流通経大柏(千葉)と戦う。

日本航空を破って準決勝進出を決め、喜び合う瀬戸内の選手ら(千葉市のフクダ電子アリーナで)=飯島啓太撮影

備後

福山支局　〒720-0815 福山市野上町1-9-27 (代)084-927-1111 FAX 927-1114
広島総局　〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-3-20 (代)082-243-0101 FAX 243-0103
呉支局　〒737-0051 呉市中央2-6-10 村上ビル13-A (代)0823-22-5425 FAX 22-5426
三原通信部　0848-62-2920
尾道通信部　0848-23-3211
府中通信部　0847-45-6909
竹原通信部　0846-22-0788
三次通信部　0824-63-5241
東広島通信部　082-422-5303
ホームページ　www.yomiuri.co.jp/local/hiroshima/
折込広告は　084-921-7211

●毎週月曜日、第2・第4火曜日休み
掛軸 各種8,000(税別)円より
おおるどう 大瑠璃堂
福山市神辺町川南1121 182号線沿(すしえ向い)
☎084-963-4808
大福堂　検索
インターネットからも仕注文頂けます!

楽しい色遣い200作品

サヴィニャック展開幕

▽準々決勝(広島)(得点)

【日本航空】本原口G橋爪龍小田GD上崎玉筑井松児玉【瀬戸内】

バイク

4日午原中明神田東町土生藤原廣原さんは左脇の雪オートバ原さんは搬送確認され因では、現右カーブ因を調べ

あすのこよみ 1月7日

天気 きょう 午前 午後 北部 南部 広島 福山 呉 三次